

○菅原委員長 それでは、ただいまより議会運営委員会を開会いたします。

本日の出席委員は全員であります。

ここで、この後の協議のため、無所属議員を委員外議員として出席を求めることでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○菅原委員長 暫時休憩いたします。

休憩 午後0時06分

再開 午後0時07分

○菅原委員長 それでは、再開いたします。

1の令和8年第2回定例会の運営について、(1)の日程についてであります。6月9日の議会運営委員会で、一般質問を3日間としたところではありますが、通告締切り後、一般質問人数が20人となったことから、日程の変更について協議してまいりたいと思います。

このことについて、正副委員長案を示すことでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○菅原委員長 それでは、変更日程案を事務局から配付願います。

(変更日程案配付)

○菅原委員長 それでは、一般質問を当初予定していた6月19日、22日、23日の3日間のほか、24日の午前中を加え、1日目6人、2日目6人、3日目6人、4日目に2人とし、24日に予定していた大綱質疑は午後から行うこととしたいという提案でございます。

このとおり日程を変更することでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○菅原委員長 では、そのとおり扱いたいと思います。

最後に、議長から発言の申出がありますので、お受けしたいと思います。

○福居秀雄議長 ちょっと時間をお借りして、少しだけお話しさせていただきたいと思います。

今回、一般質問が3日間ではなく、4日間の20人となりました。議員の質問は言論の府でありますから、その人数に関しては何も申し上げないんですけども、全国市議会議長会では、地方の議員の成り手不足と、議会の質問の質っていう問題がよく取上げられております。その中で、去年の札幌であったフォーラムで、山口県の宇部市の議長さんのお話の中に、市議会等においても、国や県の動向を把握するとともに、市の現状と課題を的確に捉え、市にとって何が必要なのかを判断できる力を備えなきゃならない、資質の向上をしなきゃならないということと、それと同時に、議会は、市長をはじめとする執行部との政策論争を行うことに力を持つべきであり、議会を構成する議員も、日頃から、深く市政や国の動向を勉強を始めなきゃならないと同時に、単に自治会の延長のような一般質問をしている時間はございませんという、フォーラムの中の結論として出ております。ですから、そういったことを踏まえた中で、皆さん方も、節度ある、そして品位ある質問をしていただければなと思っている次第でございます。今、ワールドカップが始まっておりますけども、ワールド

ドカップの川平慈英さんが「むむ」っていう、ちょっとおかしいなっていうときに「むむ」っていうんですけども、私も、去年も議場で、毎年のように、この時期になると同じ答弁を繰り返すような質問がされているのが、ここ何年かの傾向にあると思います。そういった中で、各議員の中の資質とそして品位を持ちながら、質問していただければと思っている次第でございます。

以上でございます。

○菅原委員長 それでは、次回の議会運営委員会ではありますが、追って連絡をすることといたします。

以上、散会いたします。

散会 午後０時１０分